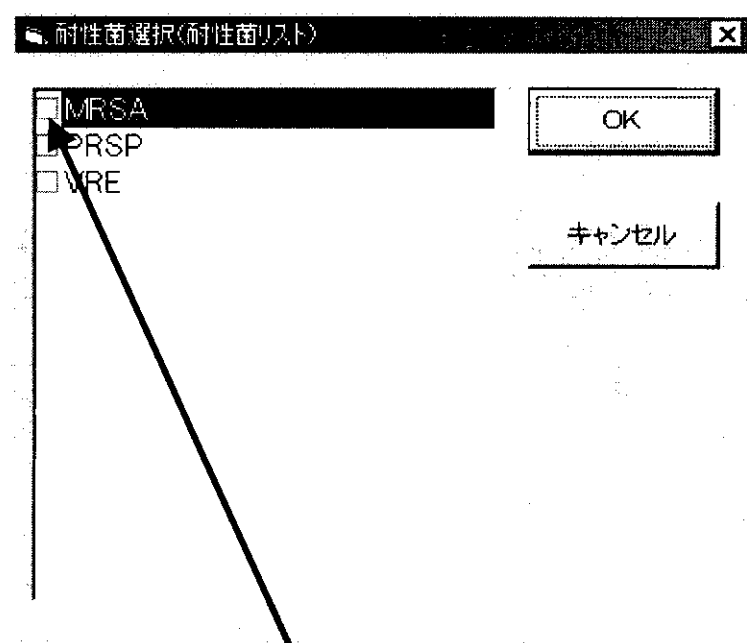


④選択ボタン（“特定の耐性菌が対象”の場合）

「耐性菌選択（耐性菌リスト）」ウィンドウが表示されます。



クリックします。一度に複数の耐性菌を選択することが可能です。

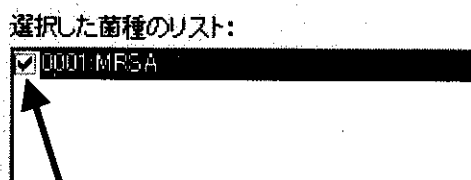
20菌種まで選択が可能です。

選択後「OK」ボタンをクリックします。ウィンドウはクローズされ「条件設定」ウィンドウに戻り、「選択した菌種リスト」に耐性菌が表示されます。

「キャンセル」ボタンをクリックするとウィンドウがクローズされ「条件設定」ウィンドウに戻るだけです。

⑤選択した菌種のリスト

選択した菌種（「特定の検出菌」または「特定の耐性菌」）がリスト表示されます。

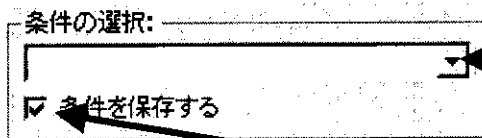


チェックをはずすと検索の対象外になります。

2 抽出の条件

(1) 条件の選択

条件の選択:



クリックすると以前に設定した条件を選択できます。

チェックをはずすと今回設定した条件は保存されません。

(2) 条件の設定

①発熱・CRP・WBCの条件

発熱・CRP・WBCの左にある「」をクリックし、右にあるボックスに条件とする値を入力します。チェックをはずすと、条件とする値もクリアされます。

“37℃”以上の熱がある患者を集計する場合は下記のように入力します。

発熱 \geq 37

クリックします。 条件とする値“37”を入力します。

②下痢・発疹の条件

下痢・発疹の左にある「」をクリックします。

下痢の診断がある患者を集計する場合は下記のように入力します。

下痢

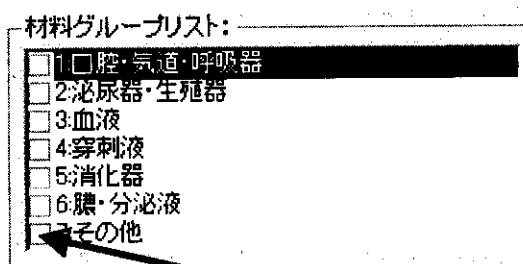
クリックします。

3 材料グループの選択

条件で材料グループを選択できます。

例えば血液検体からの分離菌について集計する場合は、リストの“血液”をクリックします。

材料グループリスト:



1. 腔・気道・呼吸器
 2. 泌尿器・生殖器
 3. 血液
 4. 穿刺液
 5. 消化器
 6. 膿・分泌液
 7. その他

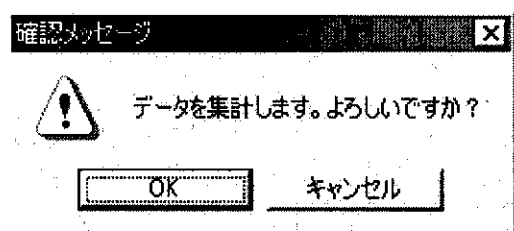
クリックします。

4 ボタンの説明

(1) グラフボタン

基本条件と抽出条件の入力がされていれば確認メッセージ表示後、検索・集計し結果を「グラフ表示ウィンドウ」に表示します。

[確認メッセージ]



「OK」ボタンをクリックすると検索・集計をします。

「キャンセル」ボタンをクリックすると条件設定ウィンドウに戻ります。

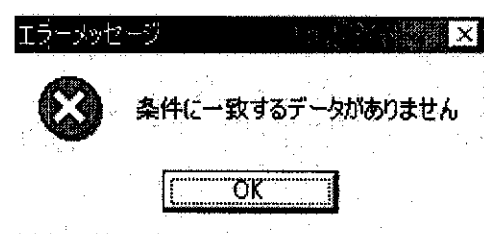
[集計中のメッセージ]

集計中はウィンドウの下に下記のメッセージが表示されます。



[一致するデータがない場合のエラーメッセージ]

検索・集計するデータがない場合は下記のエラーメッセージが表示されます。

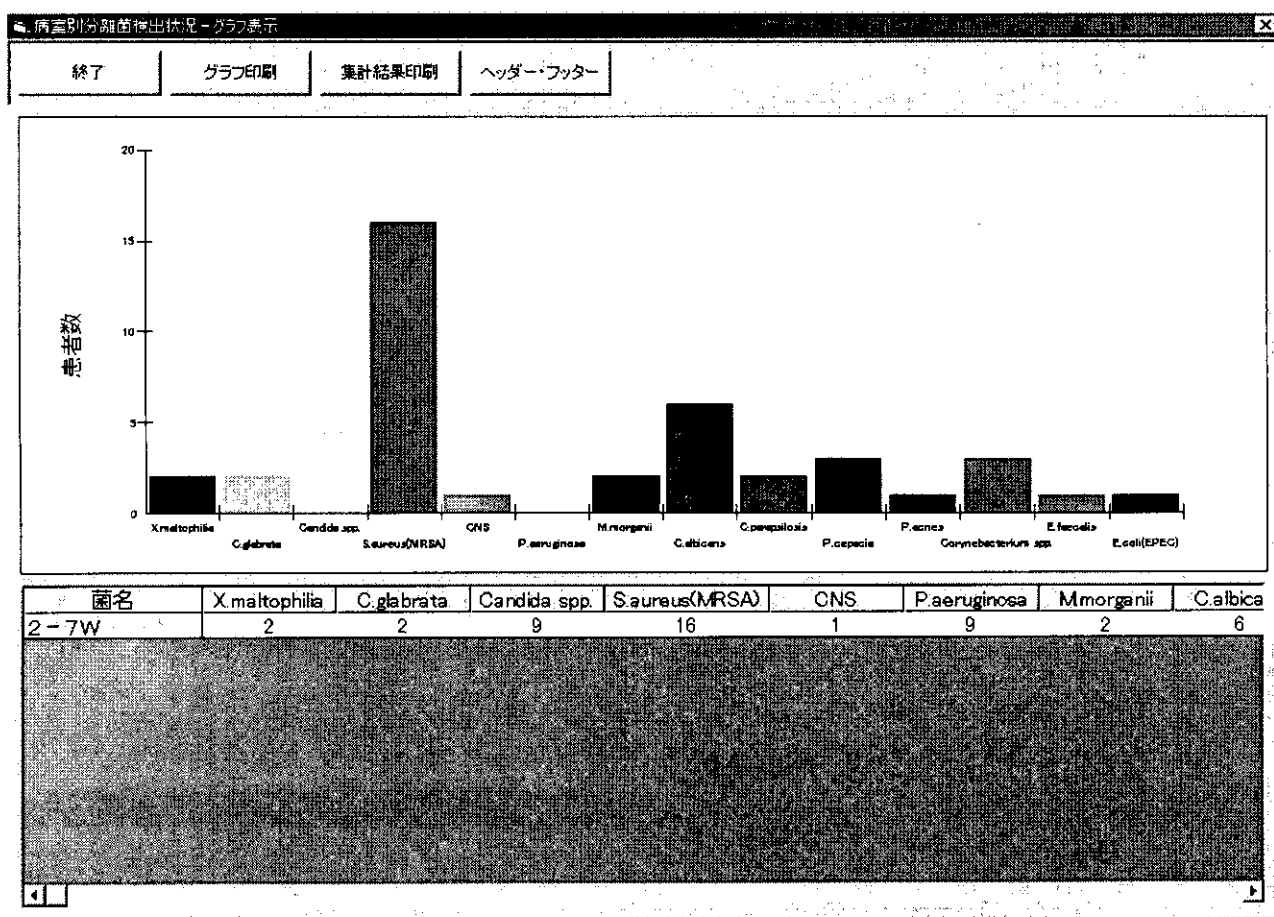


「OK」ボタンをクリックし条件設定をなおして下さい。

(2) 終了ボタン

メインメニューに戻ります。

6. 6. 2 病室別分離菌検出状況－グラフ表示



一定期間内で病室別または1病棟全体に患者ごとの分離菌の検出状況を検索・集計しその結果を集計表とグラフで表すウィンドウです。

1 グラフの種類

(1) 棒グラフ

ある特定の病室または1病棟全体で集計した場合は、上記のように棒グラフで表示します。

(2) 折れ線グラフ

複数の病室別で集計した場合は、折れ線グラフで表示します。

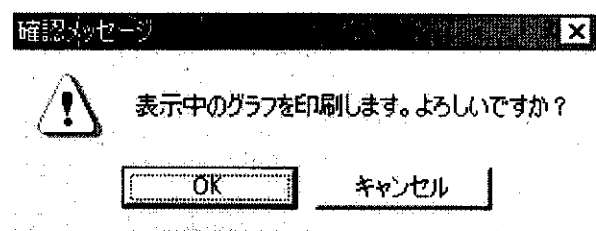
グラフの横軸を病室、菌名が層別になります。

2 ボタンの説明

(1) 終了ボタン

条件設定ウィンドウに戻ります。

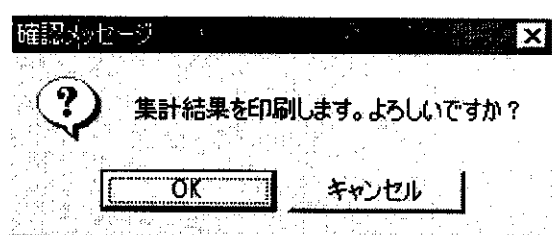
(2) グラフ印刷ボタン



「OK」ボタンをクリックすると表示中のグラフを印刷します。

「キャンセル」ボタンをクリックするとグラフ表示ウィンドウに戻ります。

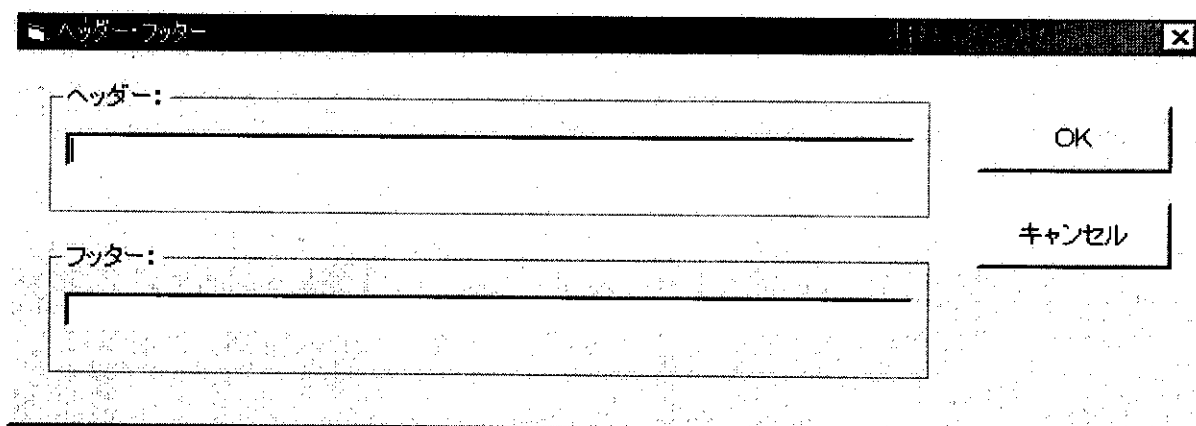
(3) 集計結果印刷ボタン



「OK」ボタンをクリックすると集計結果を印刷します。

「キャンセル」ボタンをクリックするとグラフ表示ウィンドウに戻ります。

(4) ヘッダー・フッターボタン



ヘッダー・フッターを半角60文字（全角で30文字）以内で入力します。

「OK」ボタンをクリックすると入力したヘッダー・フッターをグラフに表示します。

「キャンセル」ボタンをクリックするとグラフ表示ウィンドウに戻ります。

6. 6. 3 病棟別分離菌検出状況－条件設定

病棟別分離菌検出状況－条件設定

グラフ 終了

基本条件:
日付: 年 月 日 ~ 2001年 03月 01日 日付クリア

病棟選択:
001 OPE
002 ICU
003 PNC
004 1-3
005 1-4
006 1-5
007 2-2
008 2-4E
009 2-4W
010 2-5E
011 2-5W
012 2-6E
013 2-6W
014 2-7E
015 2-7W
016 2-8
017 2-9
018 2-10
全て選択 全てクリア

菌種の選択:
条件の選択:
 条件を保存する
 全ての検出菌が対象
 特定の検出菌が対象
 特定の耐性菌が対象 選択
選択した菌種のリスト:

抽出の条件(AND条件):
条件の選択:
 条件を保存する
 発熱
 CRP
 WBC
 下痢
 カテーテル
 発疹
 ドレーン
 IVH
 手術
 バルーン

材料グループリスト:
 1. 腔・気道・呼吸器
 2. 泌尿器・生殖器
 3. 血液
 4. 穿刺液
 5. 消化器
 6. 膿・分泌液
 7. その他

一定の期間内において、ある特定の病棟で患者ごとの分離菌検出状況を検索し集計する条件を設定するウィンドウです。下痢・発疹などの抽出条件は「環境設定－基本条件設定」で設定した診断項目が表示されます。

1 基本条件の設定

(1) 日付の範囲入力

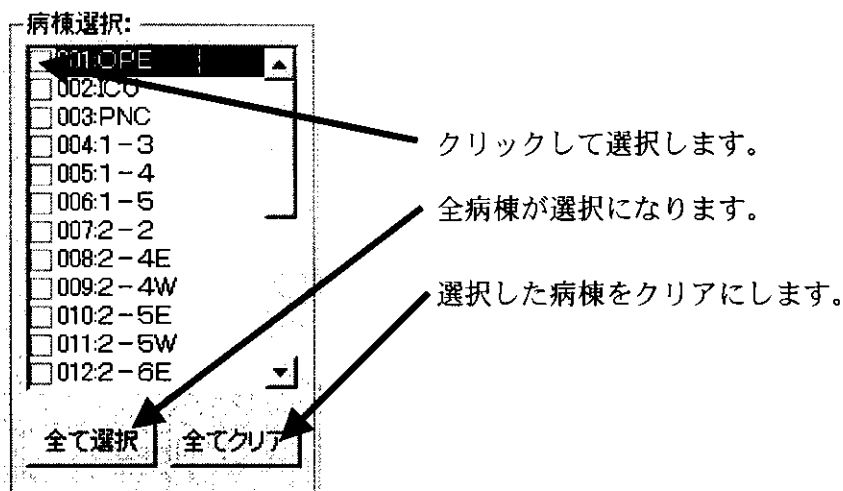
日付の範囲を西暦で年 4 桁、月 2 桁、日 2 桁で入力します。範囲の終了日付は現在日が自動的に表示されていますが、現在日より前の日付であれば書き換えることも可能です。日付を書き換える場合は、「Back space」キーで入力済みの日付を消してから書き換えて下さい。

① 日付クリアボタン

「日付クリア」をクリックすると入力中の日付がクリアになり、範囲の終了日付は現在日が自動的に表示されます。

(2) 病棟の選択

病棟リストから特定の病棟を選択します。

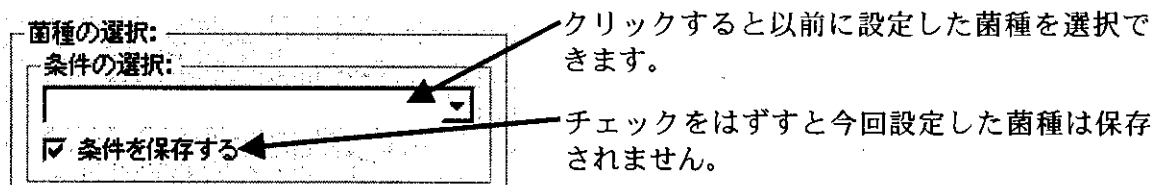


選択した病棟が、グラフ表示ウィンドウでの層別になります。

上記の例では“OPE”と“ICU”でそれぞれ抽出条件毎にデータを検索・集計します。

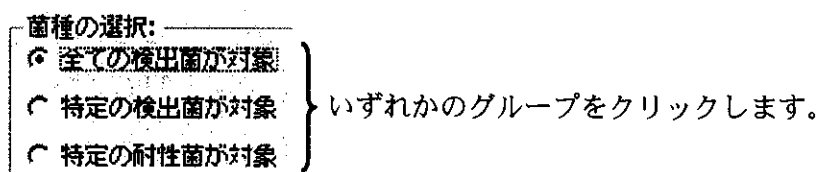
(3) 菌種の選択

①条件の選択

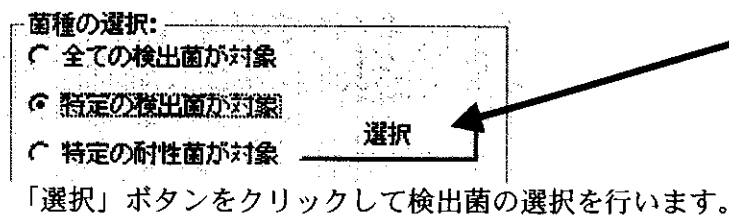


②対象グループ選択

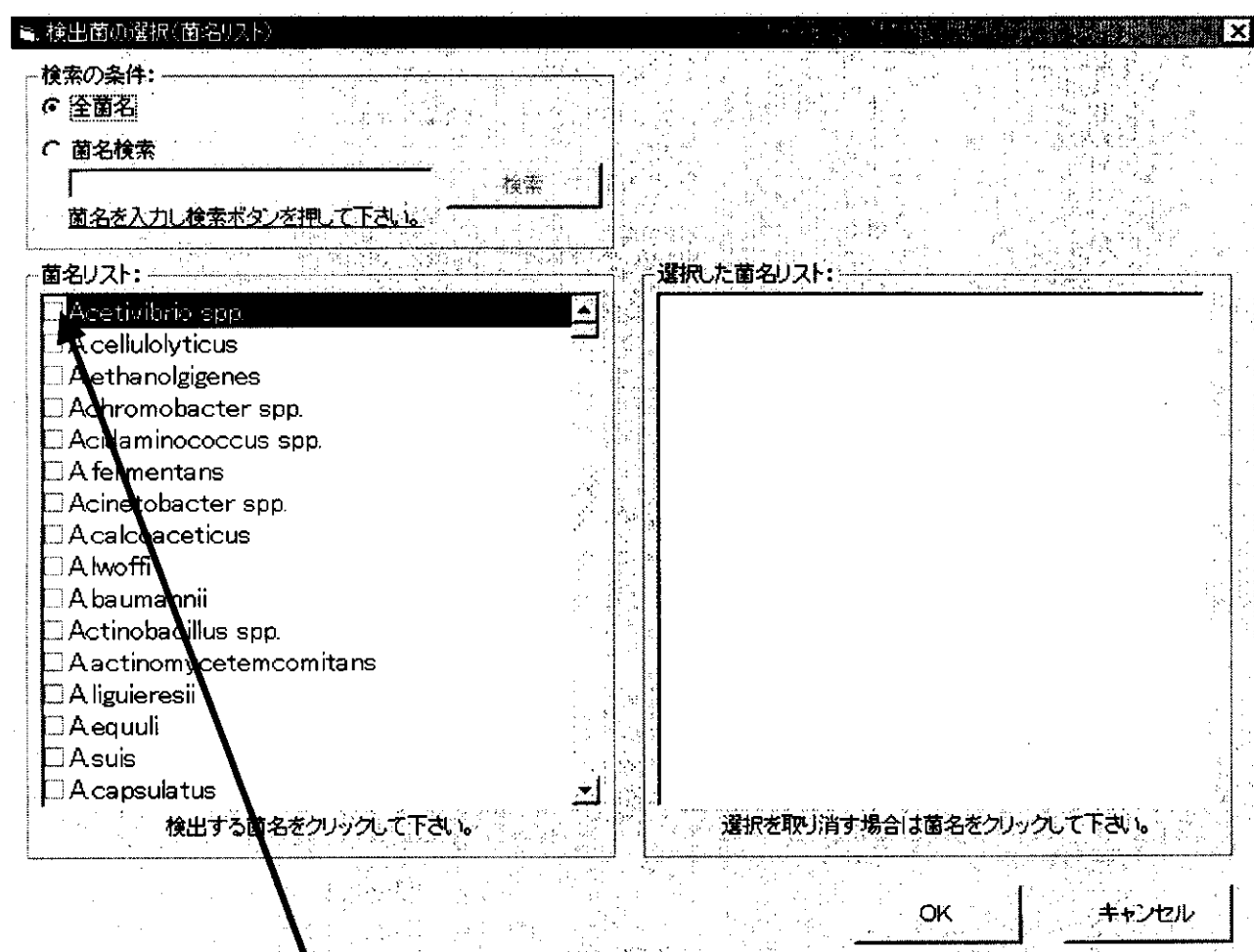
検索する菌種の対象グループを1つ選択します。



“特定の検出菌が対象”、“特定の耐性菌が対象”どちらかを選択すると「選択」ボタンが表示されます。



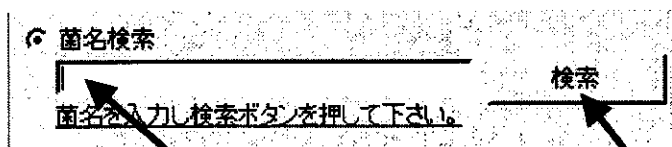
- ③選択ボタン（“特定の検出菌が対象”の場合）
 「検出菌の選択（菌名リスト）」ウィンドウが表示されます。



クリックします。一度に複数の菌名を選択することが可能です。
 クリックした菌名は「選択した菌名リスト」に表示されます。

[検索条件について]

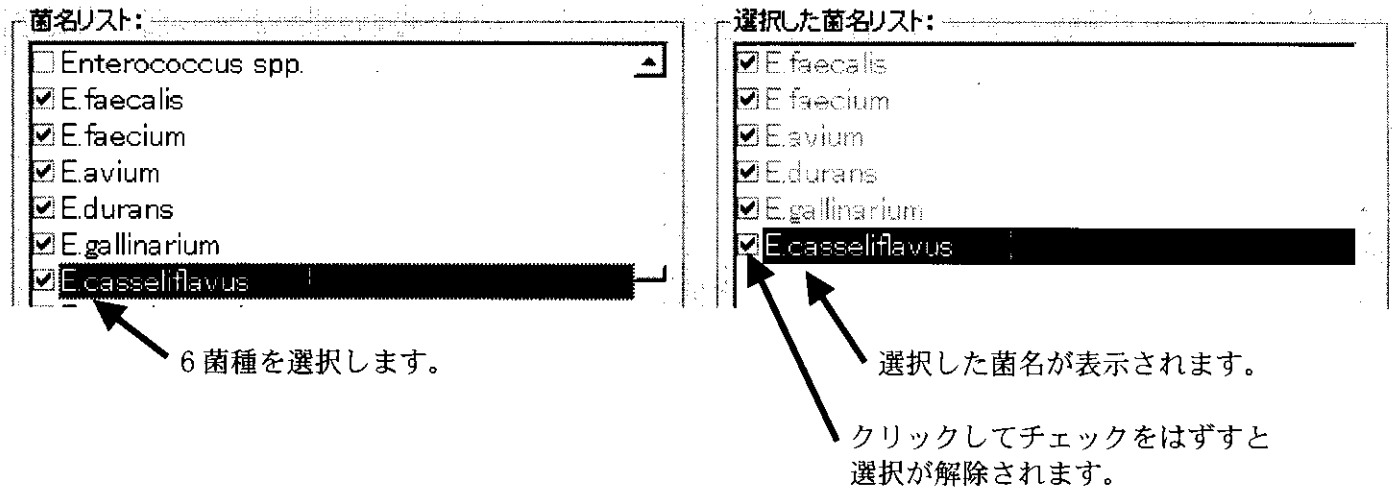
- ・全菌種
データベースに登録されている全菌名がリスト表示されます。
- ・菌名検索
検索語を入力し「検索ボタン」をクリックすると、該当する菌名のみを検索しリスト表示します。



検索語を入力します。

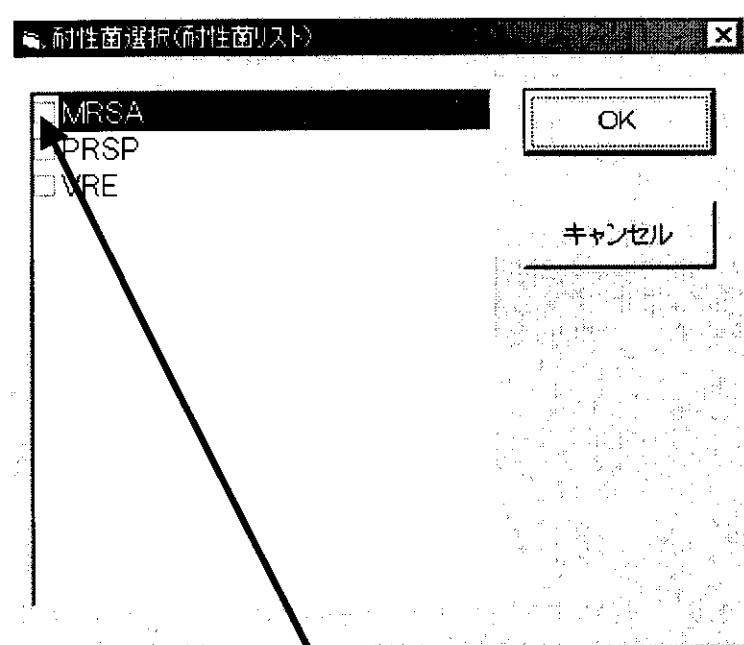
検索ボタンをクリックします。

[選択した菌名リスト]
菌名を選択すると下記ようになります。



20 菌種まで選択が可能です。
選択後「OK」ボタンをクリックします。ウィンドウはクローズされ「条件設定」ウィンドウに戻り、「選択した菌種リスト」に菌名が表示されます。
「キャンセル」ボタンをクリックするとウィンドウがクローズされ「条件設定」ウィンドウに戻るだけです。

- ④ 選択ボタン（“特定の耐性菌が対象”の場合）
「耐性菌選択（耐性菌リスト）」ウィンドウが表示されます。



クリックします。一度に複数の耐性菌を選択することが可能です。

20菌種まで選択が可能です。
選択後「OK」ボタンをクリックします。ウィンドウはクローズされ「条件設定」ウィンドウに戻り、「選択した菌種リスト」に耐性菌が表示されます。
「キャンセル」ボタンをクリックするとウィンドウがクローズされ「条件設定」ウィンドウに戻るだけです。

- ⑤ 選択した菌種のリスト
選択した菌種（「特定の検出菌」または「特定の耐性菌」）がリスト表示されます。

選択した菌種のリスト:



チェックをはずすと検索の対象外になります。

2 抽出の条件

(1) 条件の選択

条件の選択:

条件を保存する

チェックをはずすと今回設定した条件は保存されません。

(2) 条件の設定

①発熱・CRP・WBCの条件

発熱・CRP・WBCの左にある「□」をクリックし、右にあるボックスに条件とする値を入力します。チェックをはずすと、条件とする値もクリアされます。

“37℃”以上の熱がある患者を集計する場合は下記のように入力します。

発熱 \geq 37

クリックします。

条件とする値“37”を入力します。

②下痢・発疹の条件

下痢・発疹の左にある「□」をクリックします。

下痢の診断がある患者を集計する場合は下記のように入力します。

下痢

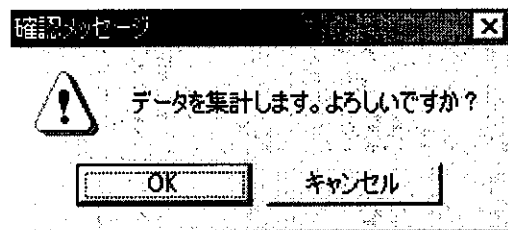
クリックします。

3 ボタンの説明

(1) グラフボタン

基本条件と抽出条件の入力がされていれば確認メッセージ表示後、検索・集計し結果を「グラフ表示ウィンドウ」に表示します。

[確認メッセージ]



「OK」ボタンをクリックすると検索・集計をします。

「キャンセル」ボタンをクリックすると条件設定ウィンドウに戻ります。

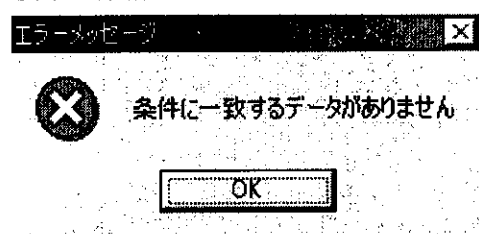
[集計中のメッセージ]

集計中はウィンドウの下に下記のメッセージが表示されます。



[一致するデータがない場合のエラーメッセージ]

検索・集計するデータがない場合は下記のエラーメッセージが表示されます。

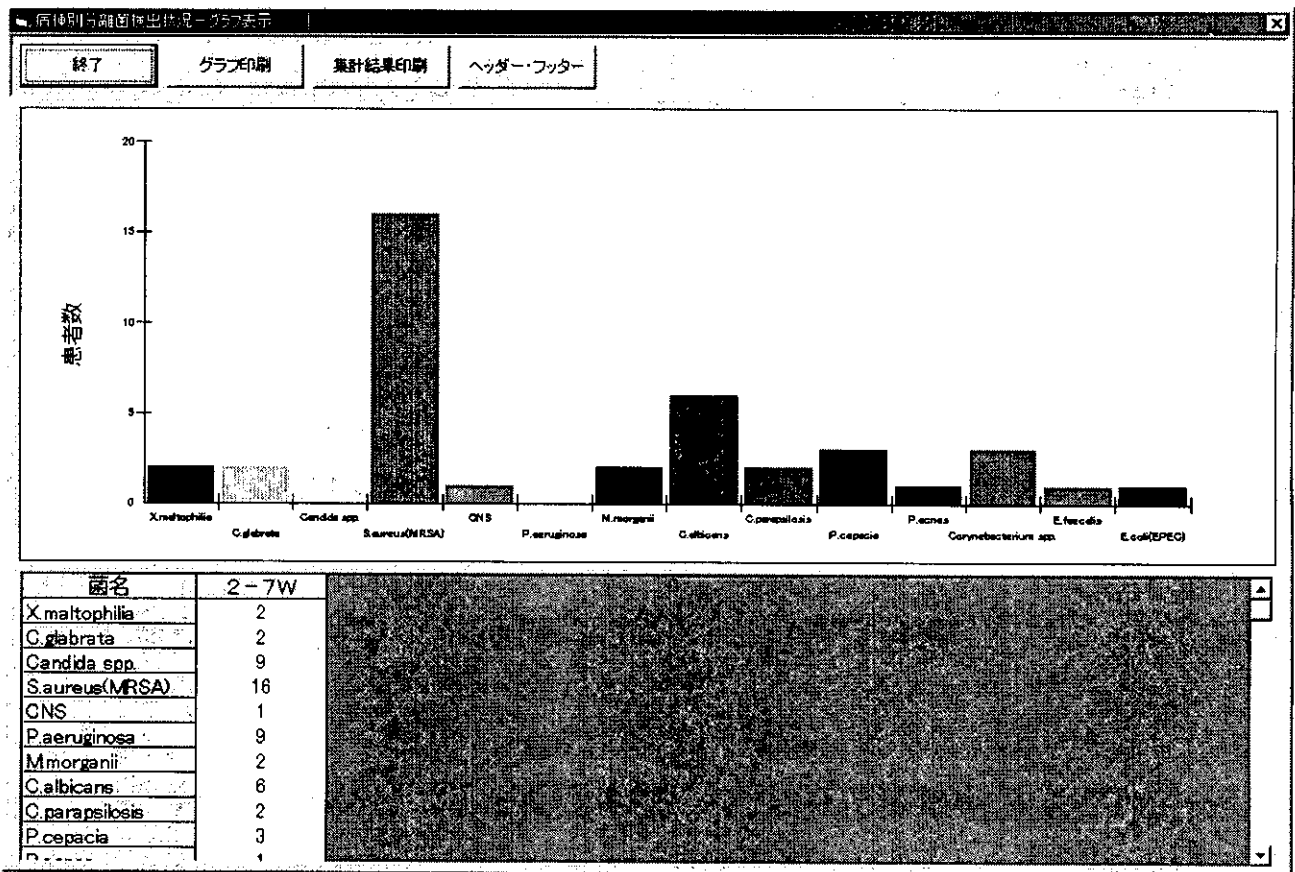


「OK」ボタンをクリックし条件設定をなおして下さい。

(2) 終了ボタン

メインメニューに戻ります。

6. 6. 4 病棟別分離菌検出状況－グラフ表示



一定期間内で病棟別に患者ごとの分離菌の検出状況を検索・集計しその結果を集計表とグラフで表示するウィンドウです。

1 グラフの種類

(1) 棒グラフ

ある特定の1病棟で集計した場合は、棒グラフで表示します。
グラフの横軸に菌名が表示されます。

(2) 折れ線グラフ

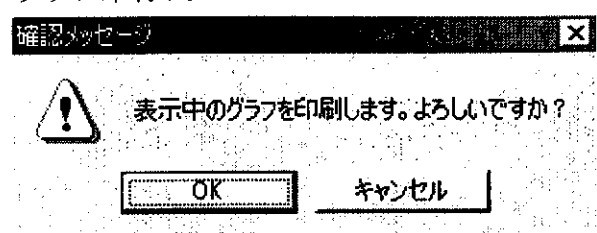
病棟別で集計した場合は、上記のような折れ線グラフで表示します。

2 ボタンの説明

(1) 終了ボタン

条件設定ウィンドウに戻ります。

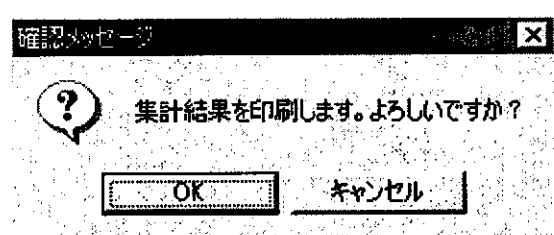
(2) グラフ印刷ボタン



「OK」ボタンをクリックすると表示中のグラフを印刷します。

「キャンセル」ボタンをクリックするとグラフ表示ウィンドウに戻ります。

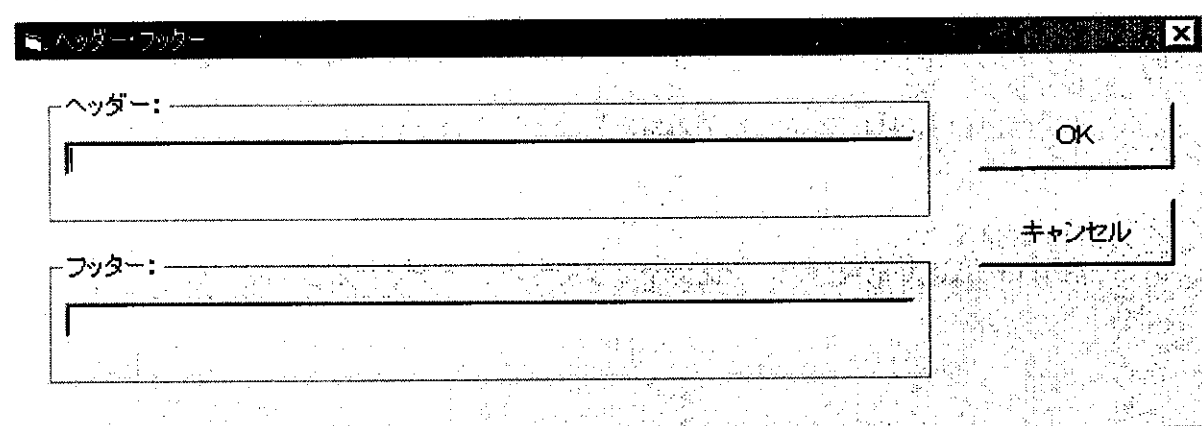
(3) 集計結果印刷ボタン



「OK」ボタンをクリックすると集計結果を印刷します。

「キャンセル」ボタンをクリックするとグラフ表示ウィンドウに戻ります。

(4) ヘッダー・フッターボタン



ヘッダー・フッターを半角60文字（全角で30文字）以内で入力します。

「OK」ボタンをクリックすると入力したヘッダー・フッターをグラフに表示します。

「キャンセル」ボタンをクリックするとグラフ表示ウィンドウに戻ります。

6. 6. 5 特定患者の分離菌検出状況－条件設定

特定患者の分離菌検出状況－条件設定

検索 終了

病棟: 001:OPE

検索する期間:

年 月 日 ~ 2000年 01月 25日 日付クリア

患者名(患者ID)リスト:

A(A)
B(B)
C(C)
D(D)
E(E)
F(F)
11111111(11111111)
山田 太郎(2000011901)
22222222(22222222)
33333333(33333333)
44444444(44444444)
11111111(55555555)

患者をリストから選択して下さい。

検索の条件:

患者が入院していた病棟全て
 現在の病棟のみ

一定の期間内において、ある特定の患者の分離菌検出状況を検索する条件を設定するウィンドウです。「病棟」は「環境設定－基本情報設定」で選択した病棟が表示されます。

1 検索する期間

(1) 日付の範囲入力

日付の範囲を西暦で年4桁、月2桁、日2桁で入力します。範囲の終了日付は現在日が自動的に表示されていますが、現在日より前の日付であれば書き換えることも可能です。日付を書き換える場合は、「Back space」キーで入力済みの日付を消してから書き換えて下さい。

①日付クリアボタン

「日付クリア」をクリックすると入力中の日付がクリアになり、範囲の終了日付は現在日が自動的に表示されます。

2 患者の選択

(1) 患者の選択

患者名リストから特定の患者を選択します。

患者名(患者ID)リスト:

A(A)
B(B)
C(C)
D(D)
E(E)
F(F)
11111111(11111111)
山田 太郎(2000011901)
22222222(22222222)
33333333(33333333)
44444444(44444444)
11111111(55555555)

患者をリストから選択して下さい。

クリックして選択します。

3 検索の条件

(1) 検索の条件

「患者が入院していた病棟全て」、「現在の病棟のみ」いずれかを選択します。

「患者が入院していた病棟全て」を選択すると下記ようになります。

検索の条件:

患者が入院していた病棟全て

検索する期間内で特定患者が入院していた病棟全てが検索対象になります。

「現在の病棟のみ」を選択すると下記ようになります。

検索の条件:

患者が入院していた病棟全て

現在の病棟のみ

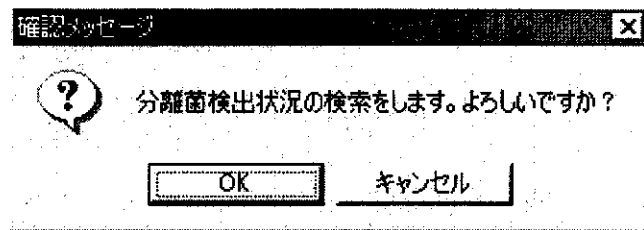
現在入院している病棟が検索対象になります。

4 ボタンの説明

(1) 検索ボタン

検索する期間と特定患者が選択されていれば、検索し結果を「検索データ一覧ウィンドウ」に表示します。

[確認メッセージ]



「OK」ボタンをクリックすると検索をします。

「キャンセル」ボタンをクリックすると条件設定ウィンドウに戻ります。

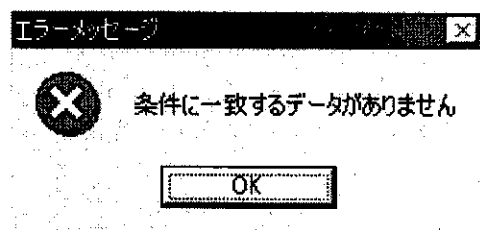
[検索中のメッセージ]

検索中はウィンドウの下に下記のメッセージが表示されます。



[一致するデータがない場合のエラーメッセージ]

検索するデータがない場合は下記のエラーメッセージが表示されます。



「OK」ボタンをクリックし条件設定をなおして下さい。

(2) 終了ボタン

メインメニューに戻ります。

6. 6. 6 特定患者の分離菌検出状況－検索データ一覧

特定患者の分離菌検出状況－検索データ一覧

終了

患者名(患者ID): 0000 期間: 1999/01/01 ~ 2000/01/25

No	採取日	病棟	病室	診療科	感染症	基礎疾患	検査材料	分離菌名	薬剤	MIC
1	19990820	OPE	101	1内	慢性下気道感染症	糖尿病	気管支鏡探痰	S.aureus	ABPC	2.0
1								E.faecalis	ABPC	4.0
2	19990822	OPE	101	1内	敗血症	糖尿病	吸引喀痰	S.pneumoniae	ABPC	4.0
3	19990823	OPE	101	1内	敗血症	糖尿病	動脈血	P.aeruginosa	PIPC	16
4	19990824	OPE	101	1内	上気道感染症	糖尿病	喀出痰	K.oxytoca	PIPC	16

一定の期間内において、ある特定患者の分離菌の検出状況を検索しその結果をワークシートに一覧表示するウィンドウです。

1 表示している内容について

(1) 固定表示

“患者名(患者ID)”、“期間”については条件設定ウィンドウで指定した患者と検索期間が表示されます。

(2) ワークシートの内容

採取日の古いデータから一覧表示します。

2 ボタンの説明

(1) 終了ボタン

条件設定ウィンドウに戻ります。

6.7 環境設定

6.7.1 基本情報設定

環境設定 - 基本情報設定

登録 クリア 終了

病棟設定:
001:OPB

診断項目設定:

1:	下痢	6:	
2:	発疹	7:	
3:		8:	
4:		9:	
5:		10:	

基準値設定:

発熱(C): ≥ 37

CRP: ≥ 0.6

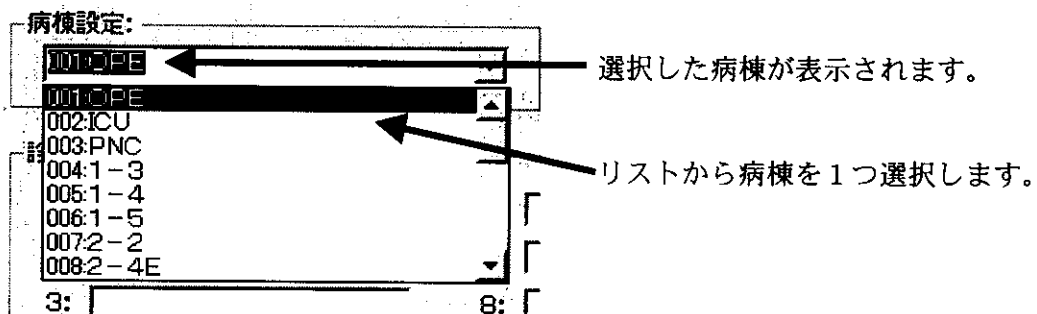
WBC: ≥ 10000

システムを使用する時の基本的な情報（病棟の選択や診断項目の設定及び発熱、CRP、WBCの基準値）を入力するウィンドウです。この機能は一番最初に行う処理になります。

1 基本情報の設定

(1) 病棟の選択

「▼」をクリックして病棟を選択します。



(2) 診断項目の設定

診断項目を最大 10 項目まで入力します。

ここで設定した項目が、「診断情報入力ウィンドウ」や「診断情報検索・修正ウィンドウ」などで表示する項目になります。また、「患者数推移」や「分離菌検出状況」など集計・解析機能においても、検索する条件として設定できる項目になります。

“発熱”、“CRP”、“WBC” はもともとある項目なので設定の必要はありません。

(3) 基準値の設定

“発熱”、“CRP”、“WBC” についての基準値を入力します。

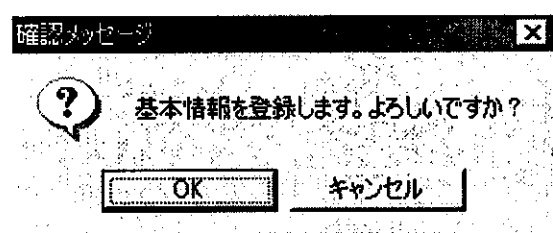
“発熱” の欄に入力した基準値が、「診断情報入力ウィンドウ」で集計される発熱患者数の基準になります。

2 ボタンの説明

(1) 登録ボタン

確認メッセージ表示後、入力した基本情報を登録します。

[確認メッセージ]



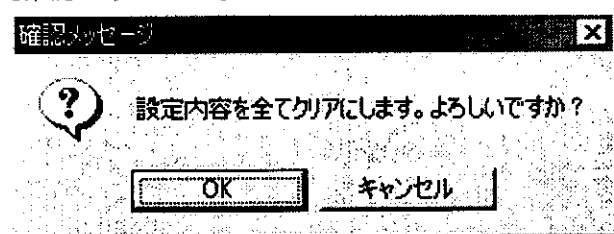
「OK」ボタンをクリックすると入力した基本情報を登録します。

「キャンセル」ボタンをクリックすると登録しません。

(2) クリアボタン

確認メッセージ表示後、基本情報をクリアにします。

[確認メッセージ]



「OK」ボタンをクリックすると基本情報をクリアにします。

「キャンセル」ボタンをクリックするとクリアしません。

(3) 終了ボタン

メインメニューに戻ります。